

やまたらけ

YAMADARAKE

JUNE

No. 47

2011



大工の親子 早川町柳島・望月工務店

新緑の季節、とある土曜日に望月工務店の現場を訪ねると、親方である望月敏彦さんと先輩大工たちは、息子の尊文(たかふみ)さんを茶化して和やかな雰囲気ではしゃいでいました。依頼主である藤本さんも交えて、なんだかとても楽しそう。これが望月工務店の現場、なんだが「心地いい」ものでした。

そんな和やかな雰囲気の中、取材に照れくさそうにしながらも、尊文さんは真剣な眼差しで建材を手際よく裁いていきます。それを、敏彦さんは決して多くは語らず、厳しいけれども暖かい目で見守っていました。大工は見様見真似で覚えるのが基本。手取り足取りの指導はありません。

そんな、父にとつてはまだまだ半人前の尊文さん。けれども、わたしにはその一生懸命な仕事姿がとても頼もしく映りました。まだまだ簡単な仕事しかできないといいながらも、「決意」を語る27歳は、わたしにとつてはまぎれもなく立派な「大工」でした。

今年27歳という尊文さんは偶然わたしと同年齢です。そんな尊文さんに自分を重ね合わせ、期待を寄せながら、早川町に生きる大工の親子を取材しました。(高井智仁)



写真上：望月工務店の親方、望月敏彦さん。さわっているのは、早川町産の天然ヒノキの一枚板。なかなか手に入らない代物。左の写真群：事務所と外の作業場の様子。大型の工具や材木が処狭しと並べられている。作業場にかかる屋根も、敏彦さん手づくり。味がある（写真左下）。現場に出ている職人と打ち合わせ（写真左上）の後には、町内の旅館に頼まれた机の仕上げ作業（写真中下）。



南アルプス街道から、狭い道を柳島集落の一番奥へと下っていきます。行き止まると、小さな山間に開けて建つのが望月工務店。来年で25周年を迎えます。

親方の望月敏彦さんは、お父さんが大島で旋盤屋を、おじいさんは飛行機的设计をしていたという、ものづくり一家に育ちました。17歳から埼玉県和光市の中村工務店に勤め、24歳のとき、お母さんの病気をきっかけに、帰ってくるつもりはなかった早川町に戻って来ました。

しばらく町内の工務店に勤めた後独立し、望月工務店を始めました。自営するつもりは全くなかったそうですが、人に囲まれていそうな仕事を紹介してもらうなかで、工務店はいつの間にか始まっていったといいます。

「早川町で数多くの経験をした。」
「何でも早川町で学んだ。」と、感謝の言葉を忘れない敏彦さん。町内のほぼ全ての親方たちと仕事をしたいというほどの経験と、そのなかで得た信頼が、今の望月工務店を支えているのです。

「カメ」のような地道な努力

敏彦さんは「腕が悪い、不器用なほうが大工には向いている。」と言います。それは、不器用な方がいるんな事を考えるし、人一倍努力もするからだと思います。

敏彦さんも「どういう風にしたらほめられるか」、そして「どんな小さなものであっても、他にないものをつくりたい」という気持ちで今まで努力してきました。「他にないものをつくるためには、昔のものを勉強しないとだめ。」と高い本を買って読んだり、実際に建物を見に行ったりもして勉強しました。

そんな敏彦さんを、中村工務店の親方は「カメ」と評したそうです。「ウサギ」と「カメ」の「カメ」であった敏彦さんですが、地道な努力を続けた結果、30人も兄弟子がいるなかで、親方から「お前に看板をやる（跡を継いでくれないかの意）」と言われるほどの信頼を勝ち取りました。そして、親方からのこの言葉は、敏彦さんの大きな自信となっています。



赤沢宿にある清水屋の改修工事風景。今にもつぶれそうだった建物を解体(写真右上)。元通りに組み立てられるよう、柱は番号をつけて保管(写真右下)。ほぞや継ぎ手など、昔の人の技術に感心する敏彦さん(写真中下)。壁は竹で小舞を組んで土を塗る(写真左上)。屋根の上には、立派な鬼瓦が再び備え付けられた(写真中上)。今年3月の状態(写真左下)。後は、外壁と建具、そして設備や内装の工事を残すのみ。

早川町を支える 心意気と技術

敏彦さんはこの探求心をもって、いままでにやってことがないものに果敢に挑戦してきました。お寺の仕事を初めてやったのは、20年程前。手がけた静岡市のあるお寺の三重塔。寺社関係の仕事は全く経験がないなかでも必死に勉強して、なんとか乗り越えました。その後、幾度も寺社仏閣の修復を手掛けましたが、一度として同じものがない寺社仏閣はやはり格別に難しいそうです。

例えば、身延山の久遠寺では、とても偉い僧侶の方の部屋へ上る階段をつくったそうです。ここでは、1本数百万もする材木を使っていて、他の大工たちが失敗を恐れやりたがらないなか、敏彦さんは先陣をきって墨出しをしました。それを見たまわりの大工たちからは、いつの間にか「親方」と呼ばれるようになったのだとか。失敗を恐れず探求するその心が、何よりも敏彦さんの魅力なのです。

町内の赤沢集落にある妙福寺では、地元の内藤工務店の下請けで、屋

根の銅板の葺き替えを息子の尊文さんとともに手がけました。尊文さんは「今までで、一番記憶に残っている仕事」だと話してくれました。

その赤沢で現在、同じく内藤工務店の下請けで、清水屋という大きな旅館だった建物の改修工事を手伝っています。赤沢は、国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されており、町並みを保存する活動をしているため、様々な規制がかかっています。外観を昔のままに保つのはもちろんですが、今回は柱や梁、瓦や土壁の下地の竹まで、使えるものは全て使い回す事が義務づけられていました。昨年度の第一期工事では、建物の掃除からはじまり、解体工事では、埃と格闘しながら、全ての部材に番号をつけ、図面に落とし、腐っている部分は切り落とし新しい材木を継ぐ、細かく難しい作業が続きました。二度とやりたくないと思うほどでした。

また、基礎を打ち、組み立て直すときも苦労の連続でした。昔の建築物は寸法が均一でないし、基礎も水平ではありません。それでもようやく組み上がり、屋根も完成。今年、第二



息子の望月尊文さん(写真上)。町内の民家のリフォーム工事。古い家の多い早川町では、こうした注文がかなり多いという。古い家だけに、作業は土煙が立ち上る中で(写真中上)。作業は先輩2人と一緒に。先輩に教わる事はまだまだ多い。(写真中下)。写真左中は、奈良田集落の外良寺の屋根の張り替え作業。

期工事で外壁や建具を入れれば、昔の美しい姿を取り戻した清水屋が、赤沢宿の新しいシンボルとしてよみがえります。

清水屋に「どんだけ悩まされたか」という敏彦さんですが、それでも挑戦していくその心意気と、その技術は早川町の建築文化を守ってきました。そしてこれからその心は引き継がれていきます。

継がれる大工の心

父敏彦さんのもと、一人前を目指して仕事に励んでいる尊文さん。尊文さんは高校卒業後、神奈川県平塚市に出て20歳のときに早川町へ戻ってきました。平塚にいたときには現場監督の勉強をしていたけれど、自分は大工がやりたいと、父のもとへ帰ってきたそうです。

尊文さんは、「大工になって、父を尊敬するようになった」と少し照れながら話してくれました。中学高校のときには、自分より遅く出て早く帰ってきている敏彦さんを見て、「いつ仕事してるの!」と憤っていたそ

うですが(笑、いまは「考え方を見習いたい。」「やったことないことでも臨機応変にできてしまうところ。がすごい。」と、心のなかで敏彦さんのことを本当に尊敬しています。

それでも、面と向かうとお互い恥ずかしさもあってか喧嘩することもしばしば。尊文さんは「大工はやめる!」と啖呵を切るけれど、次の日には必ず「ごめんなさい」と謝ってしまうと、笑いながら話してくれました。

無事仕事が上がったときに、自分がやったことを認めてくれる、喜んでもらえるのが嬉しいと大工の仕事への誇りを感じている尊文さん。いつかは、新築の家を自分ひとりで建てられるようになりたい。そして、自分が跡を継ぐ以上、自分の代の限りしっかりやりたいと固い決意を語ってくれました。

尊文さんは今年7月の結婚を機に、早川町の実家を離れ、玉穂(山梨県中央市)へ引っ越します。早川町外の仕事もあるので、それも考えてということ。それでも事務所はここだからと、将来は早川町に戻ってくる

つもり。決意をもった同じ27歳の尊文さんを、わたしは立派だと、頑張っ
てほしいと感じました。

自分で切り開く道

けれど、大工の仕事は経験がものを
言う、まだまだ経験の少ない尊
文さんに対して敏彦さんの言葉は厳
しく、結婚の報告をしたときにも「お
まえ、それで飯食えるのか」と、口には
出さずとも何度もそういう顔をさ
れたと尊文さんは言います。

でも、厳しい言葉は期待の裏返し。
「自分で動きたくなってしまっ
てるのは苦手だ」と積極的に言葉
は口にしません、やはり息子を見
守る目は父の目だと感じます。手取
り足取りの指導はありませんが、息

子には自分で道を切り開いてほし
い、そんな気持ちが伝わってきまし
た。

いま尊文さんができて敏彦さんが
できないことなんて、もちろんほと
んどありません。けれども、「尊文に
は自分のできないことをやってもら
いたい」と敏彦さんは言います。この
言葉こそ息子への期待の表れ。そし
て、そんな敏彦さんの思いを、多くは
語らない後ろ姿から尊文さんも感じ
とって、自分の道を切り開いていこ
うと一生懸命もがいています。

町を離れ仕事に就く人が多いなか
で敏彦さん、尊文さん親子のような
存在が早川町の文化を守っていつて
くれる、早川町の将来を明るくして
くれる、わたしはそう信じて応援し
ていきたいと思っています。



取材の最後にツーショット写真をとお願い。照れる二人に、何度も何度も撮り直し。肩を組んでという要望は、当然ながら却下された。お忙しいところ、快く取材にご協力いただき、誠にありがとうございました！

早川旬の直送便

直送便ウェブサイトでは、その他の商品も販売しております。会員割引も適用できますので、ぜひご活用下さい。

<http://shop.joryuken.net/>

100年以上受け継がれてきた在来種の野菜 茂倉集落に伝わる「幻の茂倉ウリ」

今年の夏も、もう目の前までできています。暑い季節、早川の茂倉集落では、100年以上も前から自家採種で栽培してきた茂倉ウリを食べてきました。茂倉ウリは、形はずんぐりむっくりですが、肉厚で柔らかくみずみずしいのが特徴です。

冷たいみそ汁に茂倉ウリを刻んで入れた定番の「冷汁」は、そのまま飲むのもよし、ご飯や麦飯にかけて食べるのもよし。

暑い夏でも食がすすみます。また、乱切りにして味噌とおかかをまぶした「みそころがし」も最高。

茂倉の伝統料理で、夏の暑さをしのいでみてはいかがでしょう。どうぞお試しください！



内容/ウリ 8本程度、エゴマ 100g、ネギ適量、青じそ適量

価格/通常 1,800円 会員 1,620円+送料

発送/7月下旬から

締切/7月11日(月)

※こちらの商品は、お中元対応は出来ませんのでご了承下さい。

早川のご当地アイスをお中元に！ 「ポポと雨畑茶のアイスクリームセット」

ご好評をいただいている、ポポアイスと雨畑茶アイスを、お中元特別企画のお得なセットで販売いたします。

全国的にも珍しい幻しの果実「ポポ」。トロピカルでバナナとマンゴーを足したような味わいの、おいしいアイスです。もう1つは「雨畑茶アイス」。雨畑地区では、川霧が降りるためおいしいお茶が育ちます。その成分を逃さないように加工しているので、雨畑茶そのものの風味を楽しめます。

今回はお中元にも対応しております。ご希望の方はご注文の際に、お申し付けください。



内容/ポポアイス、雨畑茶アイス各6個ずつ
(1カップ120ml×12個)

価格/通常 4,200円 会員 4,000円(送料込)

発送/注文順に順次発送

締切/お中元のお申し込みは7月31日までに

■ご注文・お問い合わせ先■

※会員価格は、早川サポーターズクラブ、及びNPO法人日本上流文化圏研究所の会員に適用されます。

NPO 法人 日本上流文化圏研究所 (やまだらけ編集部)

TEL. 0556-45-2160 (9:00~17:30) FAX. 0556-45-2268 E-mail shop@joryuken.net

注文者氏名、住所、電話番号、お送り先氏名、住所、電話番号、商品名、数量をご連絡下さい。ファックス、メールの場合、折り返しご連絡いたします。3日経っても連絡がない場合は、お手数ですが電話でお問合せください。支払いは、商品と一緒に請求書をお送りしますので、指定の金融機関へお振込みください。

送料は、全ての商品の基本料金が、普通便 740円 で関西、中国、四国、九州、東北、北海道は+100円~420円 がかかります。

6月17日から7月4日まで、毎晩開催!

幻想的なホタルの光を楽しむ日帰りツアー
「ホタル見ナイト ~暗闇に浮かぶホタルの光を楽しむ~」

普段は立ち入ることのできない夜の野鳥公園。人工の灯りが
ない闇の中で、星空のようにホタルの光が輝きます。

日時：6月17日(金)~7月4日(月)
19:00~20:45

対象：小学生以上
参加費：大人 1,500円(税込み)
小中学生 800円(税込み)
定員：各日 20名
※当日の17:00までに要申込



ヘルシー美里の宿泊とセットになったお得なプランもございます。
(1泊2食：大人 7,000円、小学生 6,300円) また、早川町内ご
宿泊でも参加費割引があります。(大人 1,000円、小中学生 500円)

ツアーの詳細はこちら

<http://www.hayakawa-eco.com/yacho/eventlodging.htm>

早川サポーターズクラブ会員は、どちらも1割引で参加できます!

申込・お問い合わせ先

「南アルプス生態邑 野鳥公園」または「南アルプス生態邑 ヘルシー美里」

【野鳥公園】TEL/FAX:0556-48-2288 mail:yacho@hayakawa-eco.com

【ヘルシー美里】TEL:0556-48-2621 FAX:0556-48-2622 mail:info@hayakawa-eco.com

千須和主導会のブルーベリー農園にて
「ブルーベリーの摘み取り体験」
今年もシーズンイン!

毎年恒例の、千須和主導会のブルーベ
リー摘み取り体験。この農園は、H15年に
「あなたのやる気応援事業」のプロジェク
トの一つとして開園されました。早川にお
越しの際は、ぜひお訪ね下さい!

期間：7月~9月中旬

時間：9:00~16:00

価格：大人700円、小人300円(小学生まで)

内容：40分食べ放題、100gのお土産付き



問い合わせ先

「千須和主導会(代表：望月)」

住所：山梨県南巨摩郡早川町千須和

電話：0556-45-2572

「家族で挑戦!夏休み親子キャンプ」
~初心者でも安心。お子様のキャンプデビューに!~

7/30-31

清流での川遊び、炭火をおこしてバーベ
キュー、ナイトハイクや森探検など体験プロ
グラムが盛りだくさん。スタッフが一緒なの
で初心者でも安心です。野鳥公園のバンガ
ローに宿泊します。

日時：7月30日(土)~31日(日)

対象：5歳以上

参加費：大人1名+子ども(5歳~小学生)1名 15,000円

【追加】大人1名 7,500円、子ども1名 6,500円

※宿泊代、プログラム費、食費(3食)、障害保険料含

定員：4組(7/25まで要申し込み)



宿泊場所は「南アルプス邑野鳥公園」
です。ヘルシー美里の温泉も
無料で利用できます。JR身延線
「下部温泉駅」または高速バス「飯
富停留所」からの送迎ができます。



お土産にピッタリ!早川町商工会プレゼンツ
「おばあの茶っば焼き」&
「雨畑茶の零ゼリー」好評発売中!

試行錯誤を重ねて完成した、「おばあの茶っば
焼き」と「雨畑茶の零ゼリー」が新発売!どちらも
雨畑茶の粉末が使われています。町内各所の観光
施設で販売中。お土産にどうぞ!



「早川町観光物産推奨品」

新たに12品が認定!

この春新たに12品が認定され、推奨品は全30品
に!南アルプスプラザにて1ヶ月交代で展示していま
すので、早川にお越しの際はぜひお立ち寄り下さい!

【新認定品】雨畑真石ストラップ、手作りぞうり、雑穀・穀物類、天日干し
大根、木工淳司の木工品類、雨畑茶の零ゼリー、おばあの茶っば焼き

問い合わせ先「早川町商工会・早川町観光協会」

住所：山梨県南巨摩郡早川町保 509 電話：0556-45-2302

早川町が
生き残る道は
自然を守ることにある

西山温泉 元湯 蓬萊館

〒409-2702 山梨県南巨摩郡早川町湯島 73
TEL: 0556-48-2211(代)/FAX: 0556-48-2366

奈良田温泉
七不思議の湯
白根館

日本秘湯を守る会々員

〒409-2701
山梨県南巨摩郡早川町奈良田 344
電話: 0556-48-2711
FAX: 0556-48-2770
www.nukuyu.com/shiranekan/

毎分 1,630ℓ 湯温 52℃の極剛自噴火温泉では日本唯一を誇る新湯湧出
全てのお風呂、客室風呂、輪湯、シャワーに至るまで 源泉掛け流し

全館源泉掛け流しの宿
西山温泉 慶雲館

〒409-2702
山梨県南巨摩郡早川町西山温泉
TEL: 0556-48-2111
FAX: 0556-48-2611 <http://www.ketunkan.co.jp>

地元密着の店

有限会社 スーパー岩田屋

山梨県南巨摩郡身延町飯富 1383 番地
TEL: 0556-42-2125 FAX: 0556-42-2299

〒400-0806
山梨県南巨摩郡身延町下付谷 4249
電話: 0556-27-0224
ファクシミリ: 0556-27-0227

十谷上湯温泉
源氏の湯

日本秘湯を守る会々員 www.nukuyu.com/genji-yu/

新築、改築、マイホームの事なら何でもおまかせ

日本建築のプロフェッショナル
望月工務店

〒409-2713 山梨県南巨摩郡早川町保 1792
TEL: 0556-45-3016 FAX: 0556-45-2661(工場)



南アルプスの自然の中で大冒険
「森の探検隊サマーキャンプ」参加者募集中!

毎年 100 名を超える子どもたちが参加しているこのキャンプ。今年もコースも日程も大幅パワーアップ。野外自炊・里山探検・川遊び・キャンプファイヤーなど、大自然の中で思いっきり遊んで、この夏一番の思い出を作りましょう!

- 日時: ① ショートコース (2泊3日)
7月27日(水)~29日(金)
8月17日(水)~19日(金)
8月22日(月)~24日(水)
② ベーシックコース (3泊4日)
③ ベーシックロングコース (4泊5日)
8月1日(月)~4日(木)・5日(金)
8月8日(月)~11日(木)・12日(金)

場所: 硯の里キャンプ場とその周辺(早川町雨畑)
対象: 小学校3年生~中学校3年生 定員: 各回 35名(要申込)
参加費: ①26,000円・②30,000円・③35,000円(いずれも税込み)



豪華賞品? が当たる
やまだらけクイズ! 25

問: 望月工務店が手がけた、赤沢宿にある妙福寺の屋根の葺き替え。屋根には、何の金属の板を使ったでしょう。

- 答①、金
②、銀
③、銅

正解者の中から抽選で2名様に、「おばあの茶っば焼き」をプレゼント!

前回のクイズの正解は、1の「丸めて屋根の上へ投げる!」でした。抽選の結果、小竹さん(高岡市)が当選しました。おめでとうございます!

今回は応募総数 18 通、正解者数 6 名でした。

お問い合わせ・資料請求「NPO 法人日本上流文化圏研究所」

TEL: 0556-45-2160 (平日 9:00~17:00) FAX: 0556-45-2268 URL: <http://www.joryuken.net/camp/>

「はやかわ創造空間 COCOROTO」企画展

6/1-19

早川獣害対策組合とNPO法人獣害対策支援センター
「ニホンザル被害対策の一年」



野生動物といかにつきあっていくか、自然の多い山間地域の早川町では大きな課題です。早川獣害対策組合と NPO 法人獣害対策支援センターの活動から、そのきっかけを見てみませんか。昨年度の活動内容と今後の課題について、写真や詳しい図解、解説と共にご紹介します。

◆獣害対策支援センター早川事業所の専門家が、下記の日に在廊します。専門家へ質問や対策について聞いてみては如何でしょうか。(在廊日: 6月4、5、10、11、12、17、18、19日)

関連イベント「桑の実スイーツツアー」

最終日に町内の桑の実スポットを訪ね、サルも大好きな甘い桑の実を採集して、ジャムやスイーツを作るツアーを開催します。

日時: 6月19日(日) 13:00~(要予約)

集合: はやかわ創造空間 COCOROTO

申込先: NPO 法人獣害対策支援センター早川事業所(山本)

☎090-8243-5649

参加費: 1,000円

7/2-10

心にとまる景色と色彩
「村松秀樹 水彩画展」

15年前の修学旅行。清水寺の門前で、半日以上生徒の来るのを待っていた時、思いついたのがスケッチでした。日常生活の中で時間をみつければ描き始めました。風景、花、野菜など小さなバックに入れたハガキに一筆の人生が続いています。

【村松秀樹】1953年山梨県生まれ。平成20、21、22年度 早川南小学校長。現在、南アルプス市立白根巨摩中学校長。

7/16-31

南アルプスをこの足で登って撮影した
「山岳パノラマ写真展」

古希を機に始めた山歩き。山頂での感激をいつまでも残すべく山岳パノラマ写真に魅せられました。長さ約180cmの写真を中心に、南アルプスの素晴らしさを紹介します。初夏の早川町でゆっくりと山岳写真をご覧頂ければ幸いです。

【シルバークライマー(自称)】1940年山梨県生



問い合わせ先「はやかわ創造空間 COCOROTO」

住所: 山梨県南巨摩郡早川町保 1525(月曜、火曜定休)
電話: 0556-45-2770 E-Mail: cocoroto.cs@gmail.com



浜田屋商店
電話 0556-48-2311

早川町で感動体験を...
南アルプス生態邑
光源の里温泉 ヘルシー美里
南アルプス邑野鳥公園



ご予約・お問い合わせ
TEL/0556-48-2621
<http://www.hayakawa-eco.com/hmisato/>

生命保険、損害保険のことなら
株式会社 さいとうエージェンシー
tel.055-280-3360 fax.055-280-3361

自動車販売、オートリース、レンタカーのことなら
有限会社 S・T・E・P
tel.055-280-3350



〒400-0422 山梨県南アルプス市荊沢 1356-1

パソコン、PCソフト、NTT 販売代理店、
プリンター、コピー機、OA サプライ

オフィス事務機(有)

〒409-3244
山梨県西八代郡市川三郷町岩間 2077
TEL.0556-32-1003 FAX.0556-32-1004

霊峰七面山の登山口であなただの旅を支える

株式会社 俵屋観光
バス ジャンボタクシー
有限会社 俵屋旅館
宿泊 安全 法事などに
〒409-2732
山梨県南巨摩郡早川町高住 621
電話 0556-45-2500

南アルプス街道の交通安全と
清流早川の自然を守ることを永遠のテーマに
地域社会の発展に貢献する事を目指します。

早川町砂利協同組合

代表 井上聡一郎
山梨県南巨摩郡身延町業倉 761
電話 05566-2-5810

プルプル食感がたまらない じゃがいももち

新じゃがの季節ですね。今回は、樽坪集落の望月英子さんと、草塩集落の高橋時枝さんより「じゃがいももち」をご紹介します。おやつにしたり、人が集まる場で振る舞ったりするそうです。

よくこねたじゃがいもちは、食感がモチモチ！焼きたてには、みそやしょうゆの香ばしさがよく合います。材料がシンプルなので、ぜひ作ってみてください。

■材料 (4人分)

- じゃがいも…3個
※小さいもの、古いものでも可
- 片栗粉……………100g(じゃがいもの1/3量)
- 塩……………ひとつまみ
- 酒……………少々
- 油……………適量



本号から、日々料理について熱心に研究されている、食生活改善推進委員の方々推薦のレシピを連載していきます。知恵の詰まったレシピに、乞うご期待！

■作り方



①じゃがいもを一口大に切り、水につけてあく抜き、水から軟らかくなるまで茹でる。



②ザルにあげボールに移し、熱いうちにマッシャー等でつぶす。



③あら熱がとれたら、塩と片栗粉と酒を入れて混ぜ合わせ、よくこねる。



④まとまったら、太い棒状にまとめラップで包み冷蔵庫で冷やす。



⑤厚さ1cm程度に切り、手の平で切り口を軽く押さえて形を整える。



⑥フライパンに薄く油を引いて熱し、中火で両面をこんがり焼く。



■たれの作り方

【みそだれ】

材料：みそ、砂糖、酒、みりん、すりごまを各適量
みそと砂糖、酒を火にかけてながら混ぜる。混ぜたら、みりんを入れ、照りが出てきたら、すりごまを入れて完成。



【しょうゆだれ】

材料：しょうゆ、砂糖を1対1
しょうゆと砂糖を火にかけてながら混ぜ、とろっとしたらできあがり。



読者の声

●道祖神様が廃止になるなんて、どんな騒ぎがあったのでしょうか。(富岡町Mさん)

編集部：何か特定の騒動があったというよりも、明治政府が強く押し進めた神仏分離政策の一環だったようです。神道を基盤とした、天皇中心の祭政一致の国家をつくることを目指し、神社のまつりゴトも皇室の祭祀に合せるように再編成される状況下、神社に拠らない民間信仰の道祖神祭りは禁圧の対象になったのだと思われます。

●写真の中に、お花やミカンが供えてある像

があり、早川の人の信仰心に感動してしまいました。(千代田区Mさん)

●(出身の)新倉集落のヤナギを見て、昔の記憶が少しずつよみがえって来ます。「箱取り」というゲーム(?)を14日夜にしていました。(高岡市Kさん)

編集部：道祖神、水神さん、山の神、屋敷神様など、今でも定期的にお祭りやお供え物がなされ、大切に守られている神様がいくつもあります。これらは、「自然に生かされている」という謙虚な気持ちの表れだと思います。「箱取り」についても、また調べてみます。

地域発展のお手伝い！地域の暮らしを守る！

早邦建設株式会社

H21 湯川工用道路工事

【本社】〒409-2732 山梨県南巨摩郡早川町高住 645-27
TEL.0556-45-3000 FAX.0556-45-2288
【生コンクリートプラント】TEL.0556-45-2700
E-mail: soho@soho3000.com

自分や、家族、そして友達の誕生日の花は、これ！

誕生日の花図鑑

誕生日の花図鑑

清水晶子/監 中居恵子/著

1年366日の美しく迫力ある花の写真に、それぞれの花言葉とやさしい解説文をつけた図鑑。小学生からおとなまで花好きの人にも楽しめる1冊。

定価1,953円(税込) ISBN978-4-591-12363-8

ポプラ社 〒160-8565 東京都新宿区大塚町22-1
販売局:TEL03(3357)2212 FAX03(3359)2359

■NEXT やまだらけ

47号特集(6月上旬お届け)

「早川パワースポット巡り」

ここ数年、巷で大ブームのパワースポット。ここ早川町にも、昔から大勢の人が引き寄せられるパワースポットがいくつもあります。

次号では、様々な角度からの検証もふまえながら、早川町が誇る本物のパワースポットと、その力を紹介します。

鉛筆の名作「ハイユニ」 1ダース ¥1,764

文具の **月禾堂** TEL(0556)22-0445

お二人には三度にわたり、お話を聞かせていただきました。緊張なく楽しく取材できたのもお二人の人柄あってこそ。せっかくなので貴重な話がよい記事になるか、原稿を書き終えても不安がありました。編集で見事「息」が吹き込まれ、大工の親子の姿が思い浮かぶいいものになったのではないのでしょうか。お二人の今後の活躍を、影ながら応援していきたいと思ひます。(高井智仁)

山を覗けば宝の山 やまだらけ

発行元/フィールドミュージアム運営委員会
住所/山梨県南巨摩郡早川町薬袋430 〒409-2727
電話/0556-45-2160 ファクシミリ/0556-45-2268
ホームページ/http://www.town.hayakawa.yamanashi.jp/frn/